

P C T

REC'D 21 OCT 2004

WIPO

PCT

特許性に関する国際予備報告 (特許協力条約第二章)

(法第12条、法施行規則第56条)

[PCT 36条及びPCT規則70]

出願人又は代理人 の書類記号 OR-83	今後の手続きについては、様式PCT/IPEA/416を参照すること。	
国際出願番号 PCT/JP03/08580	国際出願日 (日.月.年) 07.07.2003	優先日 (日.月.年) 09.07.2002
国際特許分類 (IPC) Int. Cl. C08K 5/00, C08L101/00		
出願人 (氏名又は名称) オリエント化学工業株式会社		

1. この報告書は、PCT 35条に基づきこの国際予備審査機関で作成された国際予備審査報告である。
法施行規則第57条 (PCT 36条) の規定に従い送付する。
2. この国際予備審査報告は、この表紙を含めて全部で 4 ページからなる。
3. この報告には次の附属物件も添付されている。
- a ☒ 附属書類は全部で 38 ページである。
- ☒ 補正されて、この報告の基礎とされた及び/又はこの国際予備審査機関が認めた訂正を含む明細書、請求の範囲及び/又は図面の用紙 (PCT規則70.16及び実施細則第607号参照)
- ☐ 第I欄4. 及び補充欄に示したように、出願時における国際出願の開示の範囲を超えた補正を含むものとこの国際予備審査機関が認定した差替え用紙
- b ☐ 電子媒体は全部で (電子媒体の種類、数を示す)。
配列表に関する補充欄に示すように、コンピュータ読み取り可能な形式による配列表又は配列表に関連するデータを含む。 (実施細則第802号参照)
4. この国際予備審査報告は、次の内容を含む。
- ☒ 第I欄 国際予備審査報告の基礎
- ☐ 第II欄 優先権
- ☒ 第III欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成
- ☐ 第IV欄 発明の単一性の欠如
- ☒ 第V欄 PCT 35条(2)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明
- ☐ 第VI欄 ある種の引用文献
- ☐ 第VII欄 国際出願の不備
- ☐ 第VIII欄 国際出願に対する意見

国際予備審査の請求書を受理した日 27.01.2004	国際予備審査報告を作成した日 29.09.2004	
名称及びあて先 日本国特許庁 (IPEA/JP) 郵便番号100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号	特許庁審査官 (権限のある職員) 中川 淳子	4 J 2940
電話番号 03-3581-1101 内線 3455		

様式PCT/IPEA/409 (表紙) (2004年1月)

BEST AVAILABLE COPY

第I欄 報告の基礎

1. この国際予備審査報告は、下記に示す場合を除くほか、国際出願の言語を基礎とした。

☐ この報告は、_____語による翻訳文を基礎とした。

それは、次の目的で提出された翻訳文の言語である。

- ☐ PCT規則12.3及び23.1(b)にいう国際調査
☐ PCT規則12.4にいう国際公開
☐ PCT規則55.2又は55.3にいう国際予備審査

2. この報告は下記の出願書類を基礎とした。(法第6条(PCT14条)の規定に基づく命令に応答するために提出された差替え用紙は、この報告において「出願時」とし、この報告に添付していない。)

☐ 出願時の国際出願書類

☒ 明細書

第 1-145 ページ、 出願時に提出されたもの

第 _____ ページ*

第 _____ ページ*

付で国際予備審査機関が受理したもの

付で国際予備審査機関が受理したもの

☒ 請求の範囲

第 55-57, 73 項、 出願時に提出されたもの

第 _____ 項*

第 1, 20, 45-54, 58-65, 68-72, 項*、 PCT19条の規定に基づき補正されたもの

第 74-81 項*

20.07.2004

付で国際予備審査機関が受理したもの

20.07.2004

付で国際予備審査機関が受理したもの

☒ 図面

第 1-8 ページ/図、 出願時に提出されたもの

第 _____ ページ/図*

第 _____ ページ/図*

付で国際予備審査機関が受理したもの

付で国際予備審査機関が受理したもの

☐ 配列表又は関連するテーブル

配列表に関する補充欄を参照すること。

3. ☒ 補正により、下記の書類が削除された。

☐ 明細書 第 _____ ページ

☒ 請求の範囲 第 2-19, 21-44, 66-67 項

☐ 図面 第 _____ ページ/図

☐ 配列表 (具体的に記載すること)

☐ 配列表に関連するテーブル (具体的に記載すること)

4. ☐ この報告は、補充欄に示したように、この報告に添付されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を越えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。(PCT規則70.2(c))

☐ 明細書 第 _____ ページ

☐ 請求の範囲 第 _____ 項

☐ 図面 第 _____ ページ/図

☐ 配列表 (具体的に記載すること)

☐ 配列表に関連するテーブル (具体的に記載すること)

* 4. に該当する場合、その用紙に“superseded”と記入されることがある。

第Ⅲ欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解の不作成

1. 次に関して、当該請求の範囲に記載されている発明の新規性、進歩性又は産業上の利用可能性につき、次の理由により審査しない。

☐ 国際出願全体

☒ 請求の範囲 50-52

理由：

☐ この国際出願又は請求の範囲 は、国際予備審査をすることを要しない次の事項を内容としている（具体的に記載すること）。

☒ 明細書、請求の範囲若しくは図面（次に示す部分）又は請求の範囲 50-52 の記載が、不明確であるため、見解を示すことができない（具体的に記載すること）。

請求の範囲 50 に係る発明は、請求の範囲 20 を引用するものであるが、その請求の範囲 20 に含まれない化合物が規定されており、矛盾している。

よって、発明が不明確である。

請求の範囲 50 を引用する請求の範囲 51 および 52 についても、同様に不明確である。

☐ 全部の請求の範囲又は請求の範囲 が、明細書による十分な裏付けを欠くため、見解を示すことができない。

☐ 請求の範囲 について、国際調査報告が作成されていない。

☐ ヌクレオチド又はアミノ酸の配列表が、実施細則の附属書 C（塩基配列又はアミノ酸配列を含む明細書等の作成のためのガイドライン）に定める基準を、次の点で満たしていない。

書面による配列表が

☐

提出されていない。

コンピュータ読み取り可能な形式による配列表が

☐

所定の基準を満たしていない。

☐

提出されていない。

☐

所定の基準を満たしていない。

☐ コンピュータ読み取り可能な形式によるヌクレオチド又はアミノ酸の配列表に関連するテーブルが、実施細則の附属書 C の 2 に定める技術的な要件を、次の点で満たしていない。

☐ 提出されていない。

☐ 所定の技術的な要件を満たしていない。

☐ 詳細については補充欄を参照すること。

第Ⅴ欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての法第12条（PCT35条(2)）に定める見解、それを裏付ける文献及び説明

1. 見解

新規性 (N)	請求の範囲	1, 20, 49, 53-59, 72-76	有
	請求の範囲	45-48, 60-65, 68-71, 77-81	無
進歩性 (IS)	請求の範囲	1, 20, 49, 53-59, 72-76	有
	請求の範囲	45-48, 60-65, 68-71, 77-81	無
産業上の利用可能性 (IA)	請求の範囲	1, 20, 45-49, 53-65, 68-81	有
	請求の範囲		無

2. 文献及び説明 (PCT規則70.7)

文献1: EP 494663 A2 (TOSOH CORP)
1992.07.15

請求の範囲45-48、60-65、68-71、77-81

請求の範囲45-48、60-65、68-71、77-81に記載された発明は、国際調査報告で引用された文献1から、新規性および進歩性を有さない。

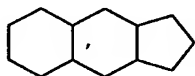
文献1の特許請求の範囲、実施例には、本願特定の核効果抑制剤が記載されている（本願発明の「核効果抑制剤」は、公知の樹脂添加剤の他の性質を見つけ、単に呼称を変えただけのものであって、その添加量も公知の範囲である。構成成分が同一であることから、当然同一の性質を持つものが得られていると認められる）。

請求の範囲

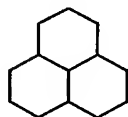
1. (補正後) 結晶性樹脂組成物中において結晶性樹脂の結晶化を制御する化合物からなる核効果抑制剤であって、

- 5 前記化合物が、4員環以上の環状構造が3個以上縮合環化した多環状構造から選ばれる少なくとも1つの構造を備えた化合物のうち、ニグロシン、アニリンブラック、及び銅フタロシアニン誘導体を除く何れかの化合物であり、

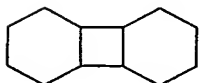
前記多環状構造が、下記列举の骨格構造から選ばれる1種以上であり、各骨格構造を構成するそれぞれの結合は単結合又は二重結合である核効果抑制剤。



10 骨格構造 a-1

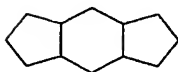


骨格構造 a-3

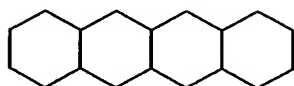


骨格構造 a-7

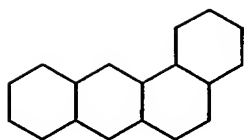
15



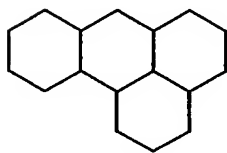
骨格構造 a-8



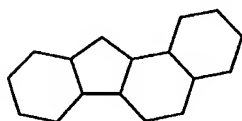
骨格構造 b-1



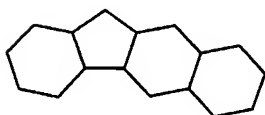
骨格構造 b - 2



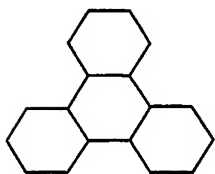
骨格構造 b - 3



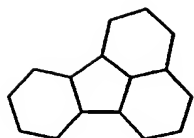
5 骨格構造 b - 6



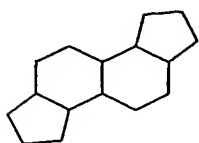
骨格構造 b - 7



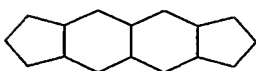
骨格構造 b - 8



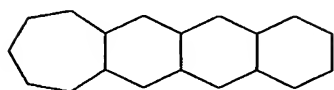
骨格構造 b-9



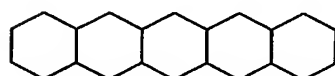
骨格構造 b-10



5 骨格構造 b-11

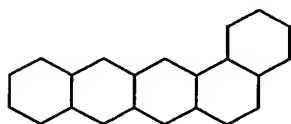


骨格構造 b-12

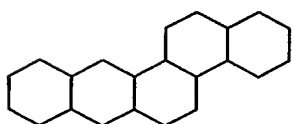


骨格構造 c-1

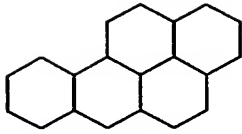
10



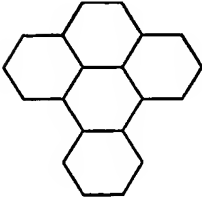
骨格構造 c-2



骨格構造 c-3

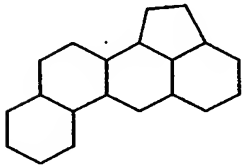


骨格構造 c - 4

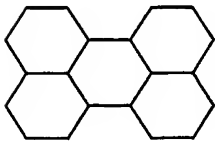


骨格構造 c - 5

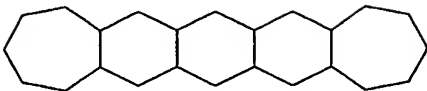
5



骨格構造 c - 6

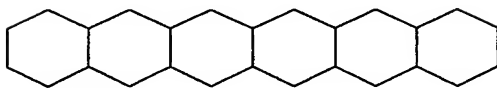


骨格構造 c - 7

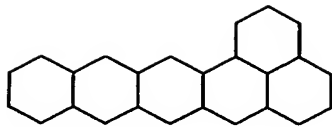


骨格構造 c - 8

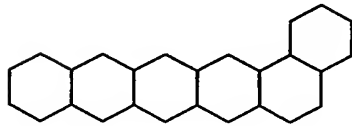
10



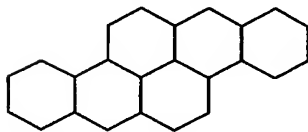
骨格構造 d - 1



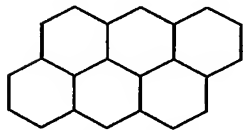
骨格構造 d - 2



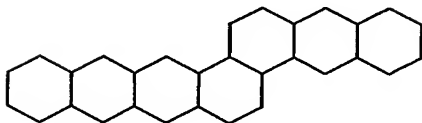
骨格構造 d - 3



5 骨格構造 d - 4

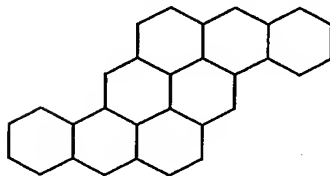


骨格構造 d - 5

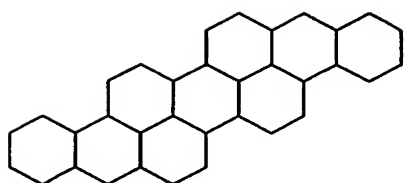


骨格構造 d - 6

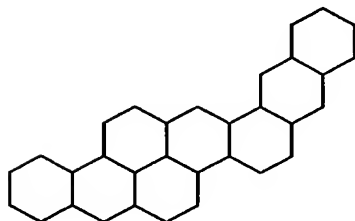
10



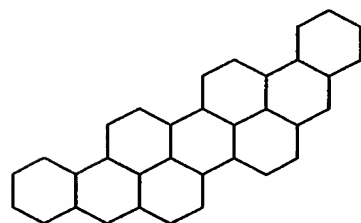
骨格構造 d - 7



骨格構造 d - 8



骨格構造 d - 9



5 骨格構造 d - 1 0

2. (削除)

3. (削除)

4. (削除)

5. (削除)

10 6. (削除)

7. (削除)

8. (削除)

9. (削除)

1 0. (削除)

15 1 1. (削除)

1 2. (削除)

13. (削除)

14. (削除)

15. (削除)

16. (削除)

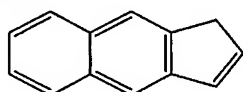
5 17. (削除)

18. (削除)

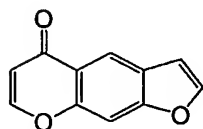
19. (削除)

20. (補正後) 結晶性樹脂組成物中において結晶性樹脂の結晶化を制御する化合物からなる核効果抑制剤であって、

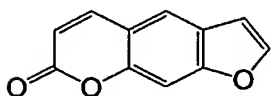
- 10 前記化合物が、4員環以上の環状構造が3個以上縮合環化した多環状構造から選ばれる少なくとも1つの構造を備えた化合物のうち、ニグロシン、アニリンブラック、及び銅フタロシアニン誘導体を除く何れかの化合物であり、
 前記多環状構造が、下記列举の基本構造から選ばれる1種以上である核効果抑制剤。



15 (a-1-1) 基本構造 1

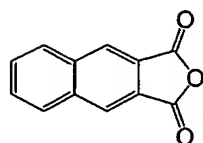


(a-1-2) 基本構造 2

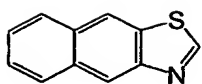


(a-1-3) 基本構造 3

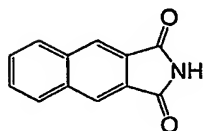
20



(a-1-4) 基本構造 4

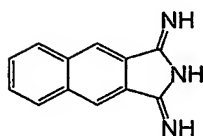


(a-1-5) 基本構造 5

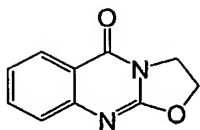


(a-1-6) 基本構造 6

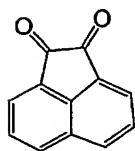
5



(a-1-7) 基本構造 7

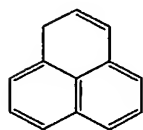


(a-1-8) 基本構造 8

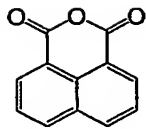


10

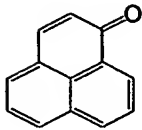
(a-2-3) 基本構造 1 1



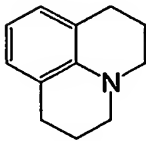
(a-3-1) 基本構造 1 2



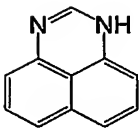
(a-3-2) 基本構造 1 3



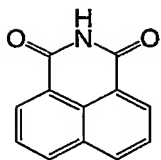
(a-3-3) 基本構造 1 4



5 (a-3-4) 基本構造 1 5

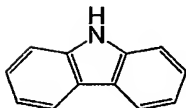


(a-3-5) 基本構造 1 6

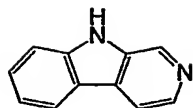


(a-3-6) 基本構造 1 7

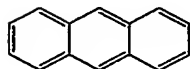
10



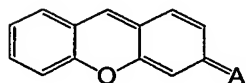
(a-4-5) 基本構造 2 2



(a-4-6) 基本構造 2 3

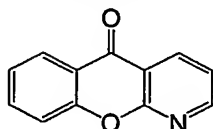


(a-5-1) 基本構造 2 4



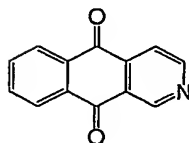
5 (a-5-5) 基本構造 2 8

[基本構造 2 8 中、A は、S、N-R、N⁺(-R¹)-R² 又は O を示し、R、R¹、及び R² は、それぞれ H、置換基を有する若しくは有しないアルキル基、又は、置換基を有する又は有しないアリール基を示す。]

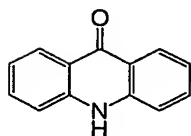


(a-5-6) 基本構造 2 9

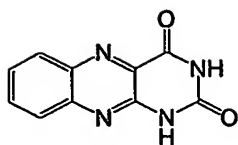
10



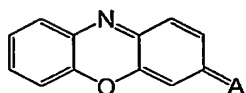
(a-5-7) 基本構造 3 0



(a-5-8) 基本構造 3 1

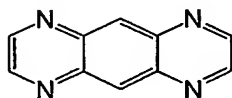


(a-5-9) 基本構造 3 2

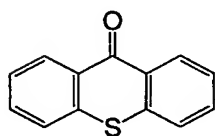


(a-5-10) 基本構造 3 3

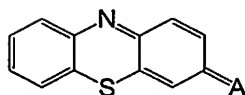
- [基本構造 3 3 中、A は、S、N-R、N⁺(-R¹)-R² 又は O を示し、R、
 5 R¹、及び R² は、それぞれ H、置換基を有する若しくは有しないアルキル基、又は、置換基を有する又は有しないアリール基を示す。]



(a-5-13) 基本構造 3 6

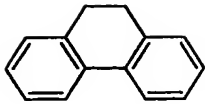


10 (a-5-14) 基本構造 3 7

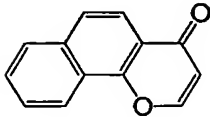


(a-5-15) 基本構造 3 8

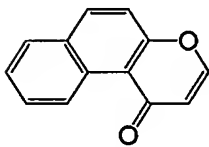
- [基本構造 3 8 中、A は、S、N-R、N⁺(-R¹)-R² 又は O を示し、R、
 15 R¹、及び R² は、それぞれ H、置換基を有する若しくは有しないアルキル基、又は、置換基を有する又は有しないアリール基を示す。]



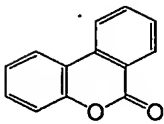
(a-6-2) 基本構造 4 0



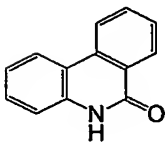
(a-6-3) 基本構造 4 1



5 (a-6-4) 基本構造 4 2

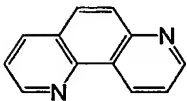


(a-6-5) 基本構造 4 3

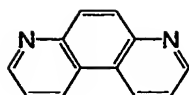


(a-6-6) 基本構造 4 4

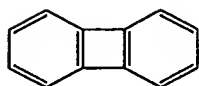
10



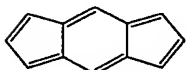
(a-6-10) 基本構造 4 8



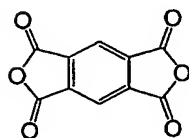
(a-6-11) 基本構造 4 9



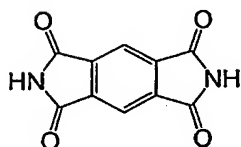
(a-7-1) 基本構造 5 0



5 (a-8-1) 基本構造 5 1

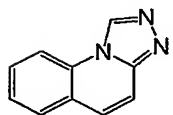


(a-8-2) 基本構造 5 2

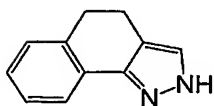


(a-8-3) 基本構造 5 3

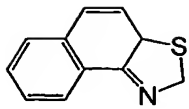
10



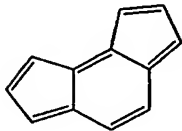
(a-9-1) 基本構造 5 4



(a-9-2) 基本構造 5 5

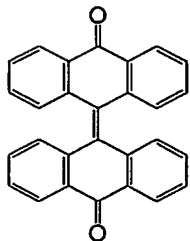


(a-9-3) 基本構造 5 6

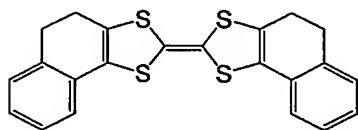


(a-9-4) 基本構造 5 7

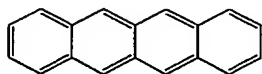
5



(a-9-6) 基本構造 5 9

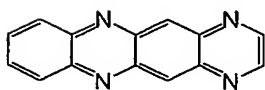


(a-9-7) 基本構造 6 0

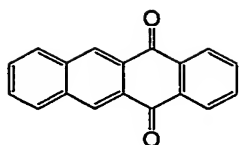


10

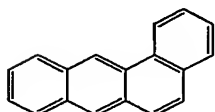
(b-1-1) 基本構造 6 1



(b-1-2) 基本構造 6 2

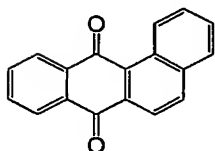


(b-1-3) 基本構造 6 3

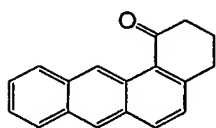


(b-2-1) 基本構造 6 4

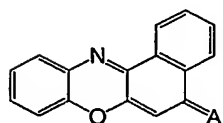
5



(b-2-2) 基本構造 6 5

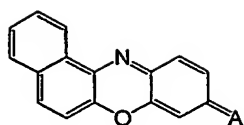


(b-2-3) 基本構造 6 6



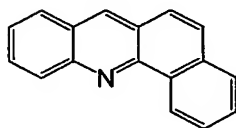
10 (b-2-4) 基本構造 6 7

[基本構造 6 7 中、Aは、S、N-R、N⁺(-R¹)-R²又はOを示し、R、R¹、及びR²は、それぞれH、置換基を有する若しくは有しないアルキル基、又は、置換基を有する又は有しないアリール基を示す。]

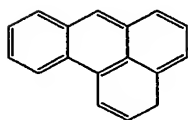


(b-2-5) 基本構造 6 8

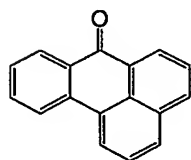
[基本構造 6 8 中、A は、S、N-R、N⁺(-R¹)-R² 又は O を示し、R、R¹、及び R² は、それぞれ H、置換基を有する若しくは有しないアルキル基、又は、置換基を有する又は有しないアリール基を示す。]



5 (b-2-6) 基本構造 6 9

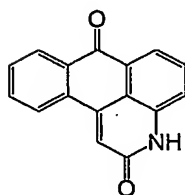


(b-3-1) 基本構造 7 0

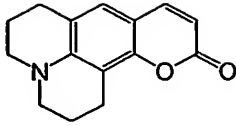


(b-3-2) 基本構造 7 1

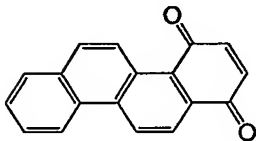
10



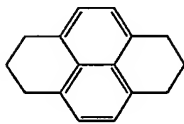
(b-3-3) 基本構造 7 2



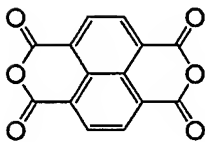
(b-3-4) 基本構造 7 3



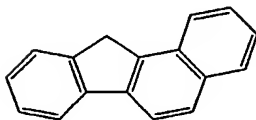
(b-4-2) 基本構造 7 5



5 (b-5-2) 基本構造 7 7

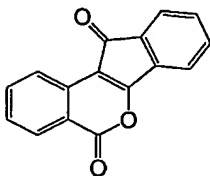


(b-5-3) 基本構造 7 8

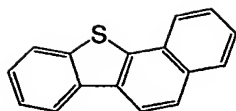


(b-6-1) 基本構造 7 9

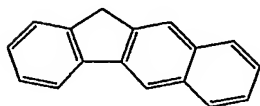
10



(b-6-2) 基本構造 8 0

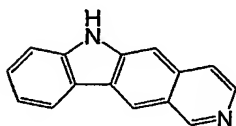


(b-6-3) 基本構造 8 1

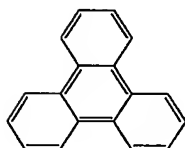


(b-7-1) 基本構造 8 2

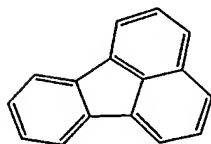
5



(b-7-2) 基本構造 8 3

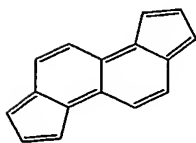


(b-8-1) 基本構造 8 4

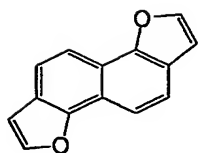


10

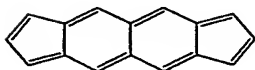
(b-9-1) 基本構造 8 5



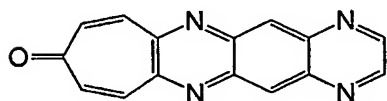
(b-10-1) 基本構造 8 6



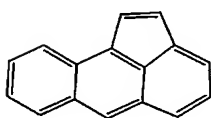
(b-10-2) 基本構造 87



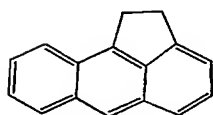
(b-11-1) 基本構造 88



5 (b-12-1) 基本構造 89

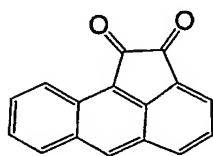


(b-13-1) 基本構造 90

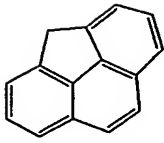


(b-13-2) 基本構造 91

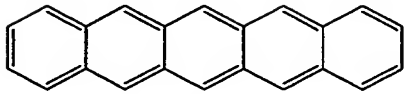
10



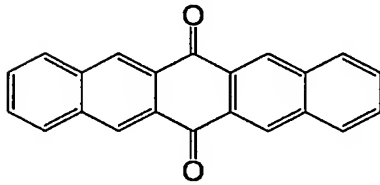
(b-13-3) 基本構造 92



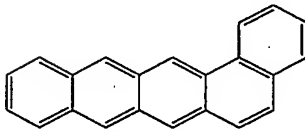
(b-13-4) 基本構造 9 3



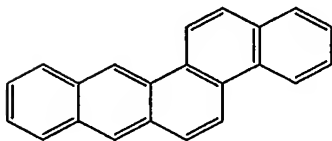
(c-1-1) 基本構造 9 4



5 (c-1-2) 基本構造 9 5

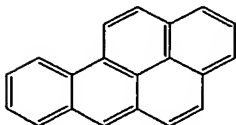


(c-2-1) 基本構造 9 6

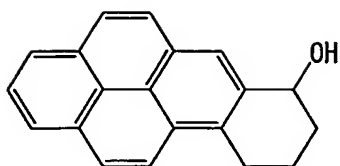


(c-3-1) 基本構造 9 7

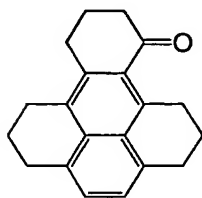
10



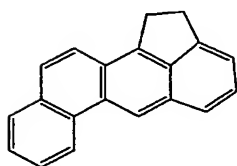
(c-4-1) 基本構造 9 8



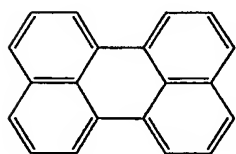
(c-4-2) 基本構造 9 9



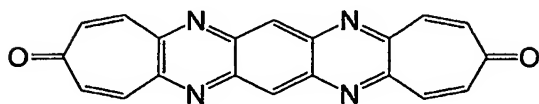
(c-5-2) 基本構造 1 0 1



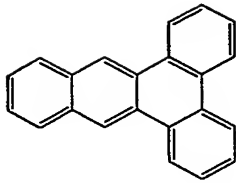
5 (c-6-1) 基本構造 1 0 2



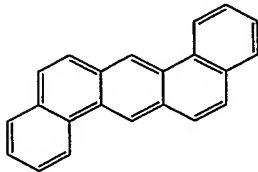
(c-7-1) 基本構造 1 0 3



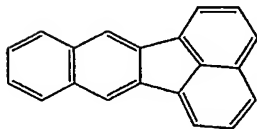
(c-8-1) 基本構造 1 0 4



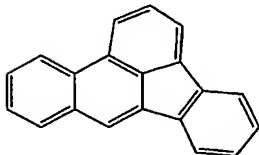
(c-9-1) 基本構造 1 0 5



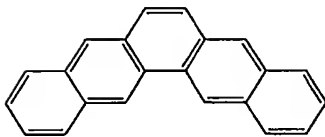
(c-9-2) 基本構造 1 0 6



5 (c-9-3) 基本構造 1 0 7

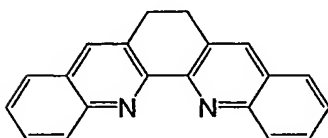


(c-9-4) 基本構造 1 0 8

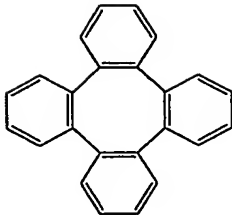


(c-9-6) 基本構造 1 1 0

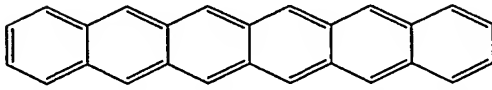
10



(c-9-7) 基本構造 1 1 1

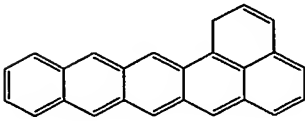


(c-9-8) 基本構造 1 1 2

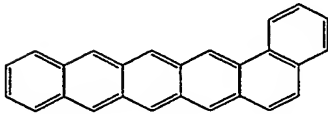


(d-1-1) 基本構造 1 1 3

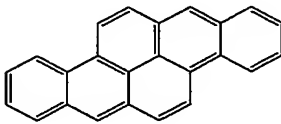
5



(d-2-1) 基本構造 1 1 4

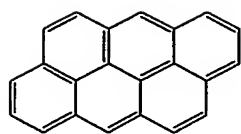


(d-3-1) 基本構造 1 1 5

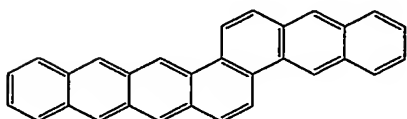


10

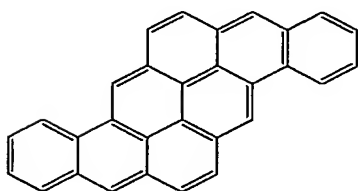
(d-4-1) 基本構造 1 1 6



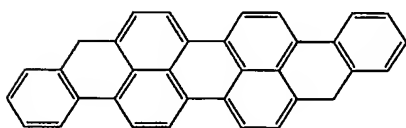
(d-5-1) 基本構造 1 1 7



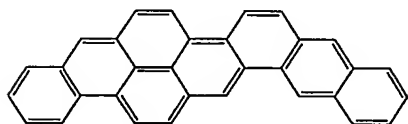
(d-6-1) 基本構造 1 1 8



5 (d-7-1) 基本構造 1 1 9

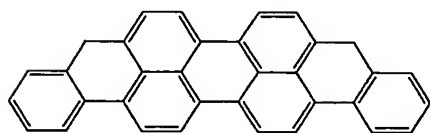


(d-8-1) 基本構造 1 2 0

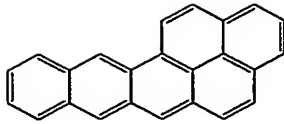


(d-9-1) 基本構造 1 2 1

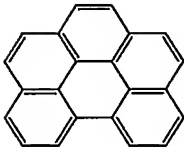
10



(d-10-1) 基本構造 1 2 2

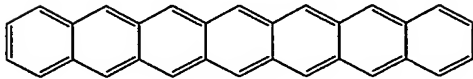


(d-11-1) 基本構造 1 2 3

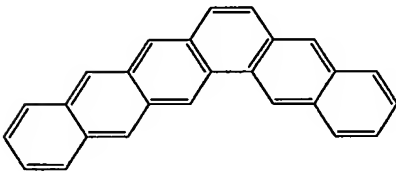


(d-11-2) 基本構造 1 2 4

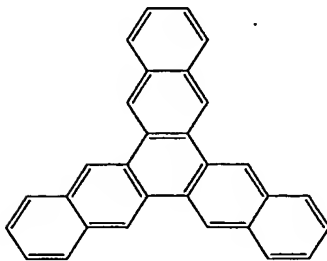
5



(d-11-3) 基本構造 1 2 5

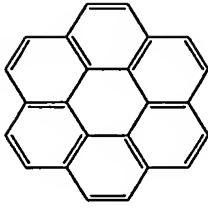


(d-11-4) 基本構造 1 2 6

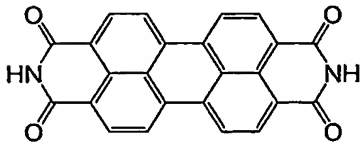


10

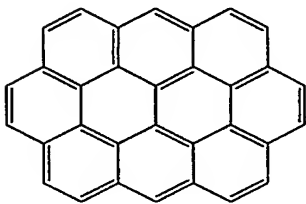
(d-11-5) 基本構造 1 2 7



(d-11-6) 基本構造 1 2 8



(d-11-7) 基本構造 1 2 9



5 (d-11-9) 基本構造 1 3 1

2 1. (削除)

2 2. (削除)

2 3. (削除)

2 4. (削除)

10 2 5. (削除)

2 6. (削除)

2 7. (削除)

2 8. (削除)

2 9. (削除)

15 3 0. (削除)

3 1. (削除)

3 2. (削除)

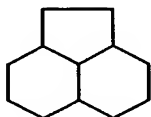
- 3 3. (削除)
3 4. (削除)
3 5. (削除)
3 6. (削除)
5 3 7. (削除)
3 8. (削除)
3 9. (削除)
4 0. (削除)
4 1. (削除)
10 4 2. (削除)
4 3. (削除)
4 4. (削除)
4 5. (補正後) 結晶性樹脂組成物中において結晶性樹脂の結晶化を制御する化合物からなる核効果抑制剤であって、
15 前記化合物が、4員環以上の環状構造が3個以上縮合環化した多環状構造から選ばれる少なくとも1つの構造を備えた化合物のうち、ニグロシン、アニリンブラック、銅フタロシアニン誘導体、及び9-キサンテノールを除く何れかの化合物であり、
前記多環状構造の少なくとも1つが、水酸基、ハロゲン、ニトロ基、シアノ基、
20 アルキル基、アルコキシ基、アラルキル基、アリル基、アルケニル基、アルキニル基、アリール基、アシル基、アルコキシカルボニル基、アリールオキシカルボニル基、アルキルアミノカルボニル基、アリールアミノカルボニル基、アルキルアミノ基、アリールアミノ基、アミノ基、アシルアミノ基、スルホンアミド基、スルホン基、及びカルボキシル基から選ばれる1種又は2種以上を置換基として
25 有する核効果抑制剤。
4 6. (補正後) 上記多環状構造の少なくとも1つが、炭素数5乃至18のアルキル基、アルコキシ基、アラルキル基、アリル基、アルケニル基、アルキニル基、アリール基、アシル基、アルコキシカルボニル基、アリールオキシカルボニル基、アルキルアミノカルボニル基、アリールアミノカルボニル基、アルキルア

ミノ基、アリールアミノ基、アシルアミノ基、スルホンアミド基、及びスルホン基から選ばれる1種又は2種以上を置換基として有する請求項45記載の核効果抑制剤。

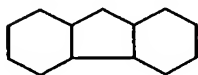
47. (補正後) 上記多環状構造が、上記骨格構造及び下記列举の骨格構造から選ばれる1種以上であって、各骨格構造を構成するそれぞれの結合は単結合又は二重結合であり、

前記多環状構造の少なくとも1つが、水酸基、ハロゲン、ニトロ基、シアノ基、アルキル基、アルコキシ基、アラルキル基、アリル基、アルケニル基、アルキニル基、アリール基、アシル基、アルコキシカルボニル基、アリールオキシカルボニル基、アルキルアミノカルボニル基、アリールアミノカルボニル基、アルキルアミノ基、アリールアミノ基、アミノ基、アシルアミノ基、スルホンアミド基、スルホン基、及びカルボキシル基から選ばれる1種又は2種以上を置換基として有し、

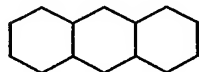
上記化合物がニグロシン、アニリンブラック、銅フタロシアニン誘導体、及び9-キサンテノールを除く何れかの化合物である請求項1記載の核効果抑制剤。



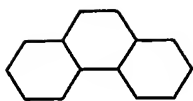
骨格構造 a-2



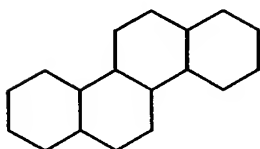
骨格構造 a-4



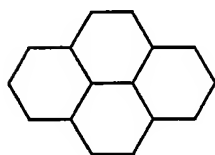
骨格構造 a-5



骨格構造 a-6



骨格構造 b-4



5 骨格構造 b-5

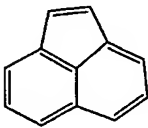
48. (補正後) 上記多環状構造の少なくとも1つが、炭素数5乃至18のアルキル基、アルコキシ基、アラルキル基、アリル基、アルケニル基、アルキニル基、アリール基、アシル基、アルコキシカルボニル基、アリールオキシカルボニル基、アルキルアミノカルボニル基、アリールアミノカルボニル基、アルキルアミノ基、アリールアミノ基、アシルアミノ基、スルホンアミド基、及びスルホン基から選ばれる1種又は2種以上を置換基として有する請求項47記載の核効果抑制剤。

49. (補正後) 上記多環状構造の少なくとも1つが、炭素数5乃至18のアルキル基、アルコキシ基、アラルキル基、アリル基、アルケニル基、アルキニル基、アリール基、アシル基、アルコキシカルボニル基、アリールオキシカルボニル基、アルキルアミノカルボニル基、アリールアミノカルボニル基、アルキルアミノ基、アリールアミノ基、アシルアミノ基、スルホンアミド基、及びスルホン基から選ばれる1種又は2種以上を置換基として有する請求項1記載の核効果抑制剤。

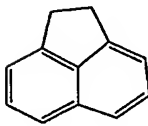
50. (補正後) 上記多環状構造が、上記基本構造及び下記列挙の基本構造から選ばれる1種以上であり、

前記多環状構造の少なくとも1つが、水酸基、ハロゲン、ニトロ基、シアノ基、アルキル基、アルコキシ基、アラルキル基、アリル基、アルケニル基、アルキニル基、アリール基、アシル基、アルコキシカルボニル基、アリールオキシカルボニル基、アルキルアミノカルボニル基、アリールアミノカルボニル基、アルキルアミノ基、アリールアミノ基、アミノ基、アシルアミノ基、スルホンアミド基、スルホン基、及びカルボキシ基から選ばれる1種又は2種以上を置換基として有し、

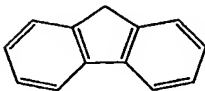
上記化合物がニグロシン、アニリンブラック、銅フタロシアニン誘導体、及び9-キサンテノールを除く何れかの化合物である請求項20記載の核効果抑制剤。



10 (a-2-1) 基本構造9

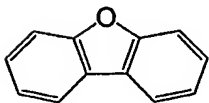


(a-2-2) 基本構造10

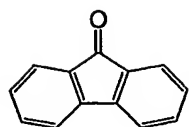


(a-4-1) 基本構造18

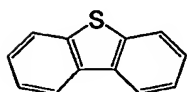
15



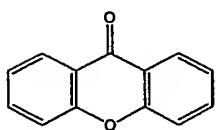
(a-4-2) 基本構造19



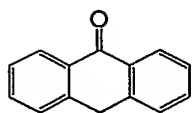
(a-4-3) 基本構造 2 0



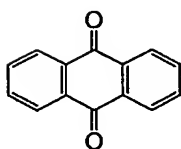
(a-4-4) 基本構造 2 1



5 (a-5-2) 基本構造 2 5

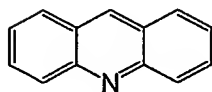


(a-5-3) 基本構造 2 6

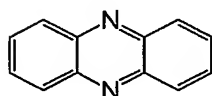


(a-5-4) 基本構造 2 7

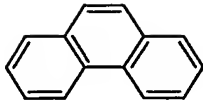
10



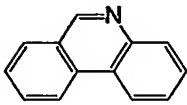
(a-5-11) 基本構造 3 4



(a-5-12) 基本構造 3 5

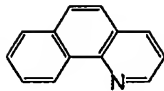


(a-6-1) 基本構造 3 9

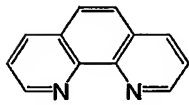


(a-6-7) 基本構造 4 5

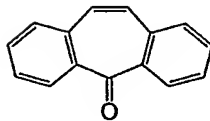
5



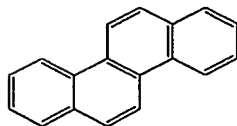
(a-6-8) 基本構造 4 6



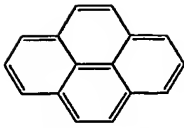
(a-6-9) 基本構造 4 7



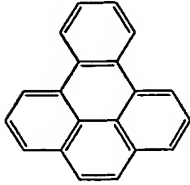
10 (a-9-5) 基本構造 5 8



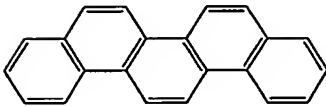
(b-4-1) 基本構造 7 4



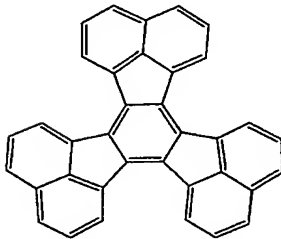
(b-5-1) 基本構造 7 6



(c-5-1) 基本構造 1 0 0



5 (c-9-5) 基本構造 1 0 9



(d-11-8) 基本構造 1 3 0

5 1. (補正後) 上記多環状構造の少なくとも1つが、アミノ基、ジメチルア
ミノ基、カルボニル基、メチル基、及びアセチル基から選ばれる1種又は2種以
10 上を置換基として有する請求項50記載の核効果抑制剤。

5 2. (補正後) 上記多環状構造の少なくとも1つが、炭素数5乃至18のア
ルキル基、アルコキシ基、アラルキル基、アリル基、アルケニル基、アルキニル
基、アリール基、アシル基、アルコキシカルボニル基、アリールオキシカルボ
ニル基、アルキルアミノカルボニル基、アリールアミノカルボニル基、アルキルア
15 ミノ基、アリールアミノ基、アシルアミノ基、スルホンアミド基、及びスルホン
基から選ばれる1種又は2種以上を置換基として有する請求項50記載の核効果

抑制剤。

5 3. (補正後) 上記多環状構造の少なくとも1つが、水酸基、ハロゲン、ニトロ基、シアノ基、アルキル基、アルコキシ基、アラルキル基、アリル基、アルケニル基、アルキニル基、アリール基、アシル基、アルコキシカルボニル基、アリールオキシカルボニル基、アルキルアミノカルボニル基、アリールアミノカルボニル基、アルキルアミノ基、アリールアミノ基、アミノ基、アシルアミノ基、スルホンアミド基、スルホン基、及びカルボキシル基から選ばれる1種又は2種以上を置換基として有する請求項20記載の核効果抑制剤。

5 4. (補正後) 結晶性樹脂組成物中において結晶性樹脂の結晶化を制御する化合物からなる核効果抑制剤であって、
10 前記化合物が、4員環以上の環状構造が3個以上縮合環化した多環状構造から選ばれる少なくとも1つの構造を備えた化合物のうちカチオンとアニオンとがイオン結合してなる塩である核効果抑制剤。

5 5. 上記塩が、上記核効果抑制剤の基本構造における、スルホン基、カルボキシル基、又は置換基を有する若しくは非置換のアミノ基がイオン化して形成された塩である請求項54記載の核効果抑制剤。

5 6. 上記アニオンが、カルボン酸又はスルホン酸に起因するアニオンである請求項54記載の核効果抑制剤。

5 7. 上記カルボン酸及びスルホン酸が、それぞれ芳香族又は脂肪族のスルホン酸及び芳香族又は脂肪族のカルボン酸である請求項56記載の核効果抑制剤。

5 8. (補正後) 結晶性樹脂組成物中において結晶性樹脂の結晶化を制御する化合物からなる核効果抑制剤であって、
前記化合物が、4員環以上の環状構造が6個以上縮合環化した多環状構造から選ばれる少なくとも1つの構造を備えた化合物のうち、ニグロシン、アニリンブラ
25 ック、銅フタロシアニン誘導体、及びデカシクレンを除く何れかの化合物である核効果抑制剤。

5 9. (補正後) 結晶性樹脂組成物中において結晶性樹脂の結晶化を制御する化合物からなる核効果抑制剤であって、

前記化合物が、4員環以上の環状構造が3個以上縮合環化した多環状構造のうち

- 、ピロール環、ピロリン環、ピロリジン環、ピラゾール環、ピラゾリン環、イミダゾール環、イミダゾリン環、イミダゾリジン環、オキサラン環、ジオキサラン環、チオラン環、チアゾール環、シクロヘキサン環、ピペリジン環、ピペラジン環、ピリドン環、オキサン環、ジオキサン環、チアン環、ジチアン環、及びチアジン環の何れか 1 以上を備える多環状構造から選ばれる少なくとも 1 つの構造を備えた化合物であり、ニグロシン、アニリンブラック、及び銅フタロシアニン誘導体を除く何れかの化合物である核効果抑制剤。
- 5 60. (補正後) 色相が無色又は淡色である請求項 1、20、並びに 45 乃至 59 の何れかに記載の核効果抑制剤。
- 10 61. (補正後) 結晶性樹脂中に、その結晶性樹脂の結晶化を制御する化合物からなる核効果抑制剤を含有してなり、
前記化合物が、4 員環以上の環状構造が 3 個以上縮合環化した多環状構造から選ばれる少なくとも 1 つの構造を備えた化合物のうち、ニグロシン、アニリンブラック、及び銅フタロシアニン誘導体を除く何れかの化合物である結晶化温度及び
- 15 結晶化速度低下性結晶性樹脂組成物。
62. (補正後) 上記結晶性樹脂が、ポリアミド 6 樹脂、ポリアミド 66 樹脂、ポリアミド 69 樹脂、ポリアミド 610 樹脂、又はポリアミド樹脂と他の合成樹脂とのアロイである請求項 61 記載の結晶性樹脂組成物。
- 20 63. (補正後) 上記結晶性樹脂組成物の結晶化温度が、その結晶性樹脂組成物における結晶性樹脂であって上記核効果抑制剤を含有しないものの結晶化温度よりも 4℃以上低い請求項 61 記載の結晶性樹脂組成物。
64. (補正後) 上記結晶性樹脂組成物の結晶化温度が、その結晶性樹脂組成物における結晶性樹脂であって上記核効果抑制剤を含有しないものの結晶化温度よりも 5℃以上低い請求項 62 記載の結晶性樹脂組成物。
- 25 65. (補正後) 上記核効果抑制剤が請求項 1、20、並びに 45 乃至 60 の何れかに記載の核効果抑制剤である請求項 61 乃至 64 の何れかに記載の結晶性樹脂組成物。
66. (削除)
67. (削除)

68. (補正後) 結晶性樹脂中に、その結晶性樹脂の結晶化を制御する化合物からなる核効果抑制剤と、繊維状補強材を含有してなり、

前記化合物が、4員環以上の環状構造が3個以上縮合環化した多環状構造から選ばれる少なくとも1つの構造を備えた化合物のうち、ニグロシン、アニリンブラック、及び銅フタロシアニン誘導体を除く何れかの化合物である結晶性樹脂組成物。

69. (補正後) 結晶化温度が、上記核効果抑制剤を含有しない結晶性樹脂組成物の結晶化温度よりも低下する請求項68記載の結晶性樹脂組成物。

70. (補正後) 結晶性樹脂100重量部に対し0.1乃至30重量部の上記核効果抑制剤を含有する請求項68記載の結晶性樹脂組成物。

71. (補正後) 上記結晶性樹脂が、ポリアミド樹脂、ポリエチレン樹脂、ポリプロピレン樹脂、ポリエチレンテレフタレート樹脂、ポリブチレンテレフタレート樹脂、ポリフェニレンスルフィド樹脂、及びポリエーテルエーテルケトン樹脂から選ばれる1又は2以上の混合物である請求項68記載の結晶性樹脂組成物

72. (補正後) 結晶性樹脂中に、4員環以上の環状構造が3個以上縮合環化した多環状構造から選ばれる少なくとも1つの構造を備えた化合物のうち、ニグロシン、アニリンブラック、及び銅フタロシアニン誘導体を除く何れかの化合物からなる核効果抑制剤を1種以上含有させることにより、その核効果抑制剤を含有する結晶性樹脂組成物の結晶化温度及び結晶化速度を、その結晶性樹脂組成物における結晶性樹脂であって前記核効果抑制剤を含有しないものの結晶化温度及び結晶化速度よりも低下させる結晶性樹脂組成物の結晶化制御法。

73. 上記結晶化温度の低下が4℃以上である請求項72記載の結晶性樹脂組成物の結晶化制御法。

74. (補正後) 結晶性樹脂中に、4員環以上の環状構造が3個以上縮合環化した多環状構造から選ばれる少なくとも1つの構造を備えた化合物のうち、ニグロシン、アニリンブラック、及び銅フタロシアニン誘導体を除く何れかの化合物からなる核効果抑制剤を1種以上含有させることにより、その核効果抑制剤を含有する結晶性樹脂組成物における球晶の平均径を、前記結晶性樹脂組成物におけ

る結晶性樹脂であって前記核効果抑制剤を含有しないものにおける球晶の平均径の2倍以上とする請求72又は73記載の結晶性樹脂組成物の結晶化制御法。

75. (補正後) 結晶性樹脂中に、4員環以上の環状構造が3個以上縮合環化した多環状構造から選ばれる少なくとも1つの構造を備えた化合物のうち、ニグロシン、アニリンブラック、及び銅フタロシアニン誘導体を除く何れかの化合物からなる核効果抑制剤を1種以上含有させることにより、その核効果抑制剤を含有する結晶性樹脂組成物における所定面積中の球晶の数を、前記結晶性樹脂組成物における結晶性樹脂であって前記核効果抑制剤を含有しないものにおける前記所定面積中の球晶の数より少なくする請求項72又は73記載の結晶性樹脂組成物の結晶化制御法。

76. (追加) 結晶性樹脂が、繊維状補強材を含有してなるものであり、核効果抑制剤を含有する結晶性樹脂組成物の結晶化温度及び結晶化速度を、核効果抑制剤を含有しないものの結晶化温度及び結晶化速度よりも低下させる請求項72記載の結晶化制御法。

77. (追加) 結晶性樹脂中に、その結晶性樹脂の結晶化を制御する化合物からなる核効果抑制剤を含有してなり、
 前記化合物が、4員環以上の環状構造が3個以上縮合環化した多環状構造から選ばれる少なくとも1つの構造を備えた化合物のうち、ニグロシン、アニリンブラック、及び銅フタロシアニン誘導体を除く何れかの化合物である結晶性樹脂成形物。

78. (追加) 結晶性樹脂成形物中の球晶の平均径が、その結晶性樹脂成形物における結晶性樹脂であって上記核効果抑制剤を含有しないものにおける球晶の平均径の2倍以上である請求項77記載の結晶性樹脂成形物。

79. (追加) 結晶性樹脂成形物における所定面積中の球晶の数が、その結晶性樹脂成形物における結晶性樹脂であって上記核効果抑制剤を含有しないものにおける前記所定面積中の球晶の数より少ない請求項77記載の結晶性樹脂成形物。

80. (追加) 上記結晶性樹脂が、ポリアミド6樹脂、ポリアミド66樹脂、ポリアミド69樹脂、ポリアミド610樹脂、又はポリアミド樹脂と他の合成樹脂とのアロイである請求項77乃至79の何れかに記載の結晶性樹脂成形物。

182/1

81. (追加) 上記核効果抑制剤が請求項1、20、並びに45乃至60の何れかに記載の核効果抑制剤である請求項77乃至80の何れかに記載の結晶性樹脂成形物。

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ BLACK BORDERS
- ☒ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- ☐ FADED TEXT OR DRAWING
- ☐ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
- ☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
- ☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
- ☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
- ☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
- ☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
- ☐ OTHER: _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.